

# 平成29年度病害虫発生予察注意報第4号

平成29年 8月17日  
愛 知 県

作物名：ダイズ  
病害虫名：オオタバコガ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 やや多い
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 豊田市及び西尾市のダイズほ場に設置したフェロモントラップにおける7月下旬から8月上旬の総誘殺数は、それぞれ過去3年及び4年の平均総誘殺数と比較して1.5～2.0倍とやや多い。
- (2) 8月上旬の巡回調査(16ほ場)でダイズ100株当たりの寄生株率が県平均9.2%(過去4年の平均1.5%、平均対比6.1倍)、発生ほ場率68.8%(過去4年の平均34.8%、平均対比2.0倍)で、寄生株率、発生ほ場率とも本調査が始まった平成25年以降最も高い。

#### 4 防除対策

- (1) 本種は1粒ずつ産卵し、幼虫は主に葉を加害するが(図1)、中齢期以降は莢も加害するため(図2)、ほ場内をよく観察し早期発見に努める。
- (2) 幼虫の発生を確認した場合は、表を参考に防除する。
- (3) 薬剤感受性が低下しないように、同一IRACコードの農薬を連用しない。



図1 葉を加害する中齢幼虫



図2 莢を加害する老齢幼虫

表 オオタバコガに対する主な防除薬剤

作物名	農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数	IRACコード
ダイズ	アタブロン乳剤	4000倍	収穫14日前まで	2回以内	15
豆類 (種実)	デルフィン顆粒水和剤	1000倍	発生初期	-	11(A)
	チューンアップ顆粒水和剤	2000～3000倍	但し収穫前日まで	-	11(A)

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、[http://www.jcpa.or.jp/lab0/pdf/2017/mechanism\\_irac.pdf](http://www.jcpa.or.jp/lab0/pdf/2017/mechanism_irac.pdf)を参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

#### 5 その他

本種の幼虫は、広食性でキャベツ、ハクサイ、ナス、トマト及びキクなど多くの作物を加害するので、これらの作物においても本種の発生に注意する。

#### 6 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室  
電話 0561-62-0085 内線471